



July 25.2012

No.112

かが んが

Kanda

議会だより

6月
定例会

知ってる?議会 P2~3

6月定例会

未来を拓く人づくり..... P4~7

全員協議会・研修レポート P8~9

一般質問 P10~19

追跡レポート

二崎浄水場改修工事..... P20

町民に聞きました!!

知ってる!?

あなたにとって 苅田町議会とは?

町民の期待にどう応えよう?



熱心に回答する町民のみなさん

●町民の声が議会に反映されているか

ある程度されている	5%
あまりされていない	32%
されていない	41%
わからない	7%
わからない	15%

のかとなると4割弱しか反映されていと感じていない結果となりました。議会活動に対しては、少しづつ認められてきているが、結果が残せていないと町民は感じているのではないのでしょうか。もっと議会に白熱した議論を求めているのではないのでしょうか。

●議会改革は必要と思うか

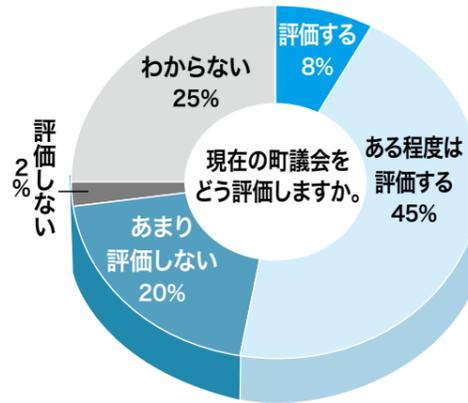
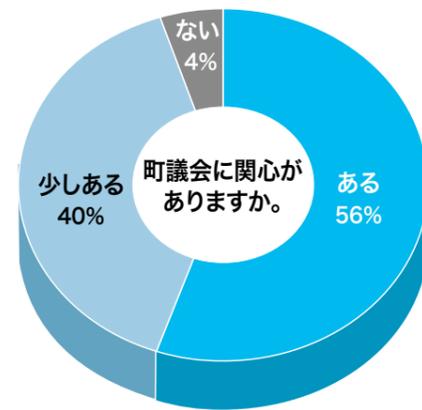
思う	53%
思わない	9%
わからない	38%

●開かれた議会を目指して
今回のアンケートを通して、議会の改革に対する熱意がまだ住民に十分に伝わってはいない現実が明らかになりました。苅田町議会は議長を先頭に議会改革に努め、議員の資質向上や議会の運営改革に努めてきました。しかし、議会に対する住民の評価はまだ低く、より一層の情報公開を行うことにより、開かれた議会を目指さなければならぬのです。

また、改革が必要と答えている方で、何を求めるかと聞いたところ、議会と町民との意見交換会の開催、傍聴しやすい日程での議会の実施、議会のインターネット中継の実施、広報誌・ホームページの充実など、議会と町民の積極的な交流を求めていることがわかりました。

この結果を踏まえて議会広報特別委員会は今まで以上に住民の議会に対する理解と関心を深める工夫と努力をする必要があると感じました。広報誌に加えて、ホームページ充実、また、議会傍聴をより進めるための広報活動、加えて、インターネット中継など今後、調査研究する課題が浮き彫りになったアンケートではなかったでしょうか。この大きな課題を解消すべく、開かれた議会を目指して、町民の皆様すべてに納得いただけるような広報活動を目指してより一層の活動を邁進して行きたいと思っております。

関心と評価



6月2日・3日の文化まつりが開かれた中央公民館において、議会広報特別委員会で議会に対するアンケートを実施しました。5年前より「開かれた議会」を目指し、推し進めてきた議会改革。町民に対してその成果と議会はどのくらい親しまれているのかを調査しました。

●「かんだ町議会報」を読む
いつも読む
ときどき読む
ほとんど読まない
知らない・見たことがない

いつも読む	53%
ときどき読む	39%
ほとんど読まない	4%
知らない・見たことがない	4%

●町議会の本会議を傍聴したことがあるか

ある	34%
ない	66%

●町議会をどう評価するか

評価する	8%
ある程度評価する	45%
あまり評価しない	20%
評価しない	2%
わからない	25%





馬場小学校

馬場小学校教室増築工事

Q 入札において10社指名。5社辞退となっている。地元企業育成の観点から入札制度の見直しを行うべきでは。

A 町内業者で入札資格・条件の合う業者から指名している。残りの業者は近隣から同等以上の資格を有する業者を指名している。また、指名する段階で業者の個別の状況を把握しているわけではない。

ますます 充実!! 未来を拓く人づくり

馬場小学校校舎増設工事 1億1155万円

6月定例会(5日~19日) 補正予算等11件を慎重審議

馬場小学校の児童数増加に伴い普通教室が不足するため、パソコン教室等3教室を増設。



体育館床下部からの湧水

与原小学校 湧水対策工事

Q 工事の概要と湧水による小中学校への影響は。

A 昨年、小学校で湧水がプール、体育館、敷地内数箇所を確認された。対応として、昨年調査、設計業務を行ってきたおり、それに対応した工事である。敷地内に集水井を三箇所設置し、そこから横ポーリングを行い、地下水を集める作業を行う。現時点では湧水による授業への影響は出ていない。

与原小学校湧水対策 5541万円



与原小学校

国民健康保険特別会計 補正予算(第1号)

Q 23年度決算で予想した1億円の赤字が1億3900万円に膨れた。なぜ、1億円だけを一般会計からの法定外繰り入れをし、残りを前期高繰り交付金からの繰上充用を行ったのか。

A 例年1億円程度を法定外繰り入れを行ってきた。今回の赤字増額分はすぐに繰り入れを行うのではなく、繰上充用等を利用しながら様子を見た。

Q 本来ならば、国民健康保険は国保税でまかなうべき。徴収努力を放棄しているのではないか。

A 3900万円を国保税でまかなうためには現在87.38%の徴収率を93.6%まで上げなくてはならない。空財源になつてはいけないので今回の補正を組んだ。

平成24年 第2回 苅田町議会定例会議決結果一覧表

議案番号	議案題名	結果
議案第39号	平成24年度苅田町一般会計補正予算(第1号)	全会一致
議案第40号	苅田町印鑑登録及び証明に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	賛成多数
議案第41号	苅田町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致
議案第42号	工事請負契約の締結について(苅田町立馬場小学校教室増設工事)	全会一致
議案第43号	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	賛成多数
議案第44号	専決処分について(苅田町税条例の一部を改正する条例の制定について)	賛成多数
議案第45号	専決処分について(苅田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	全会一致
議案第46号	専決処分について(平成24年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	全会一致
議案第47号	苅田町長及び副町長給与条例の臨時特例を定める条例の制定について	全会一致

補正予算・条例などについて審議した結果、議案9件が可決、人事案件2件が同意、意見書案5件は可決し1件は否決された。

委員会質疑

総務常任委員会

国際交流事業

Q 補正予算「地域国際化推進助成事業助成金」の詳しい内容は。

A 宝くじ事業の一環で、苅田つながら国際交流会からの申請に対する助成金。外国人の孤立化を防ぐことも含め、講座を6回予定している。



異文化交流会

産業建設常任委員会

地域商品券

Q 地域商品券発行事業補助金は今回で4回目。定例化されているのになぜ、補正予算で計上されるのか。

A 県の補助事業。県議会で予算が3月に決定される。そのため、商工会議所等への説明会が新年度になるので、当初予算で計上できない。

Q 前回は売れ行きが悪くなった。

A プレミアム率を下げたことが影響していると思われる。今回は15%に上げ、またいろいろないイベントも予定している。



町営住宅

Q 町営住宅の公募時等清掃業務委託料が民間アパートのリニューアルに相当するものか。

A 空室が10戸程度集まるまで募集を行わない。そのため、埃等がたまり、清掃が必要となる。

Q 3ヶ月に1回ぐらい募集しては。

A 現在、年2〜3回募集している。補修費用が増大しているため、募集を増やすことは難しい。

Q 家財を残した空き家を法的整理を行うことにより入居者の募集を行うべき。

A 町営住宅の明け渡し等について、方針を立て、弁護士と相談しながら検討する。



町営住宅

厚生文教常任委員会

馬場小学校教室増設

Q 増設により現在使われているパソコン教室の空調設備は撤去するのか。

A 学校と相談した結果、空調設備を残してほしいとの要望があり、図工室として転用後も設備を残す。

Q 増設工事は授業や駐車スペースに影響はないのか。地域住民への事前説明や児童への配慮を万全に。

A 体育等の授業には影響しない。現在、2つの別件の工事が行われているが、駐車スペースの一部変更で対応できる。業者、警備員へ厳重に伝える。

Q 現在の校区の線引きは、行政の都合で行っている。地域コミュニティの重要性は執行部も認識している。しかし、現在の校区は自治会を二分している。自治会単位の校区設定を行うべきである。

A 検討課題である。

議会のうごき

4月5日	議会運営委員会
4月6日	議会広報特別委員会
4月12日	議会広報特別委員会
4月17日	総務常任委員会
4月17日	産業建設常任委員会
4月17日	厚生文教常任委員会
4月19日	議会広報特別委員会
4月23日	基金運用調査特別委員会
4月27日	定住化対策特別委員会
4月27日	産業建設常任委員会
4月27日	厚生文教常任委員会
5月7日	議会運営委員会
5月16日	生活排水対策特別委員会
5月23日	議会広報特別委員会
5月24日	総務常任委員会
5月29日	厚生文教常任委員会
5月30日	産業建設常任委員会
5月31日	総務常任委員会
6月1日	議会運営委員会
6月5日	第2回定例会開会
6月6日	議案質疑
6月11日	全員協議会
6月12日	一般質問
6月13日	一般質問
6月14日	一般質問
6月15日	付託常任委員会
6月19日	議会運営委員会
6月19日	議会閉会
6月26日	議会広報特別委員会
6月28日	議会懇談会(区長連合会)

みなさん議会傍聴に来てください

9月定例会の予定

9月6日(木)から
一般質問は9月12日(水)・13日(木)・14日(金)

≪開催時間≫ 10時から17時 受付は庁舎6階
問い合わせは議会事務局 ☎093-434-1981

6月議会は
75人の
傍聴者が
ありました

意見書等

意見書案第6号

「少人数学級推進など定数改善」、「義務教育費国庫負担制度2分の1還元」を求める意見書(案)

賛成多数

意見書案第7号

「防災・減災ニューデール」による社会基盤再構築を求める意見書(案)

賛成多数

意見書案第8号

国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書(案)

賛成多数

意見書案第9号

消費税10%へのアップと社会保障の切捨ては行わないことを求める意見書(案)

否決

意見書案第10号

太陽光発電システム設置補助制度の創設を求める意見書(案)

賛成多数

意見書案第11号

住宅リフォーム助成制度の創設を県に求める意見書(案)

賛成多数

人事案件

人権擁護委員の候補者に福井弘道氏を推薦することに同意
京都郡公平委員会委員に古賀一晴氏を選任することに同意

全員協議会

6月11日、全員協議会が開催された。全員協議会はさまざまな重要協議事項についての意見調整を行うため、開催される。今回、「苅田交番移転が白紙に戻ったこと」「与原地区画整理事業の完成が6年延期されたこと」は、町民にとって重要な問題であり、大きな影響を及ぼすことから、執行部に説明を求めた。

苅田交番の苅田駅前移転について

平成21年9月に、苅田町区長連合会、及び、苅田町PTA協議会による「苅田交番の苅田駅前への移転に関する請願、及び、署名11000人分が提出された。町としても交番は治安の中核をなすものであり、機動性や利便性の向上、苅田駅周辺の治安維持を図りたいとの考えと、福岡県警も建て替えの意思があることから、移転計画の協議を進めてきた。現在まで駅周辺を強く要望し、用地取得交渉を進めてきたが、結果として確保が困難となってしまった。福岡県警は用地確保が出来ない場合は、現在の場所建て替えるとの意向であること述べた。

話せる! 応じる! 答える! 守る! ~町民のために動く議会へ~

議員課題研修会

航空機産業誘致を考える

5月21、22日に北九州空港発展のため、様々な利用促進を求めて、議会、執行部、商工会議所と合同で議員課題研修会を開催した。講師には、川崎重工業株式会社の社友を務める榊達郎氏と次世代型航空機部品供給ネットワーク事務局長の金炫修氏の2名をお招きした。

昭和52年から関門海峡浚渫土砂の処分場として生まれた北九州空港。町の課題は苅田側の空港用地60haの利用促進であり、どのような業種が適しているかが研究課題であった。講師の2人から飛行機組立工場やパイロット養成学校、アウトレットモール等の一大商業地の計画など精力的な提案がされた。また、現在地盤改良が行われている空港島南側用地を開発するまでにはしばらく時間がかかるとの説明を国土交通省から受けた。

参加者から広大な土地を見ながら「〇〇を誘致したら」など夢のある盛んな意見が出されたが、航空機の離発着に支障が出ないことなど様々な規制があり、簡単には行かないことも判明した。多くの住民の思いも取り入れた活用を行うためにも、より一層の調査研究が必要であると感じた研修であった。



与原地区画整理事業について

この事業は、今後予想される産業人口増加に対応するため、良好なまちづくりに向けて効率的、効果的に土地利用を図るため昭和55年12月に都市計画決定をした。その後、諸問題解決のために休止していたが、平成18年2月にまちの方針として「与原地区の市街地整備を推進する」事が決定され、平成19年10月に予備調査業務が完了し、20年2月に測量業務を行なった。今回の全員協議会においての説明の概略は次の通りである。平成22年3月には平成27年度までを期間とする事業認可を取得し、24年2月には仮換地の指定を行った。そして、24年3月に地権者の方々に具体的な移転スケジュールを説明していくための計画である施行計画を作成したところ、最終的

与原地区画整理事業 計画平面図



2月には仮換地の指定を行った。そして、24年3月に地権者の方々に具体的な移転スケジュールを説明していくための計画である施行計画を作成したところ、最終的

議会懇談会

区長連合会と意見交換・連携深める

6月28日、苅田議会会議室で行われた。区長連合会からは、志水会長はじめ10人の代表区長と議会は各常任委員会委員長を中心に関係議員の出席のもとで開催された。

- 懇談会は毎年開催され今回で5回目となる。今回は区長連合会から事前に提示いただいた
①防災対策の取り組み
②議会報告会の開催について
③小波瀬西工大前駅建て替えと周辺環境整備について
④白川地域の活性化についての4テーマで行われた。いずれも本町にとって重要な課題であり、1時間半という短い時間であったが、課題を共有して解決へのきっかけをつくる大切な意見交換を行うことが出来た。

京都郡町議会議員研修会

「地域づくりの新しい風」

7月6日、行橋自治会館において京都郡議会議長会主催の議員研修会が行われた。何もない町を観光客が来る様にする努力……。一、道の駅 二、夕陽等の道の駅に於いては、ジャコ天、ソフトクリーム。ジャコ天は一枚ものだと他と一緒に売れないので、串に刺して食べやすい様にと知恵を出している。また、夕陽ではコンサー

トを夕暮時に開催、そして有名人を呼んで大成功。講師若松氏は漁師をしていて身体を壊してから町の職員になり教育長までなされた方です。自分で毎日三時間の海岸の清掃を三年間続けた。最初は一人だったが続いているうちに町の人達が手伝う様になったとの事。継続は力と言う事を知らされた。



助かったはずの命をどう考えるのか

A 窓口に相談に 来ていただきたい



日本共産党 木原 洋征 議員

国民健康保険について

Q 保険証とりあげで、助かったはずの命を失ったことをどう考えるのか。

A 医療にかかることを止めるつもりはない。相談にあれば適切な対応をする。

Q 資格証発行は、厚労省が、払えるのに払えないことが明確に判断できたものとして、本町では実施しているのか。

A 個別調査はしていない。今後検討していきたい。

介護保険制度について

Q 「保険料あつて介護なし」と言われる中、生活を脅かす保険料と利用料の減免制度を活用している人は、保険料では10人、利用料では4人と少ないが、A しおりへの折り込みやケアマネの協議会で説明し、適切に対応を依頼している。

Q 訪問介護サービス、時間短縮の影響は利用者に出ているか。

A 国から、新たな時間区分へ

の強制を強いるなどの指導があり、サービスの必要性に応じてケアプランを作成。

Q 以前に指摘した、今古賀横、馬場小の下、ミニストップ横の信号機、片島小裏の歩道設置等の経過は。

A 今古賀団地横の電柱撤去は九電に、その他も関係機関に改善の要望をしている。

Q 与原小児童の事故は、以前から指摘をしていた箇所。

所。学校側からは下り坂、カーブで見通しが悪く見づらい。予備信号や、予告マークなどの改善の方策はなかったのか。

A 注意喚起の止まれシールを、4箇所貼った。

Q 教室のエアコン設置は、県内では那珂川町が行っている。本町も太陽光発電を利用したエアコン設置を考える時期では。

A 現時点では考えてない。

Q 給食センターの作業環境の改善が必要では。

A 給食センターの改修等を行う際に、空調設備を検討したい。

農業問題について

Q TPPに参加すれば、農業公社化はやれないのでは。

A TPP参加で所得保障等がなくなれば、厳しい。



今古賀団地横の電柱

Q 事業推進には人・金が必ず。その上で効率サービスを行う。

【提言】 受診抑制を伴う保険証取り上げは、町民の命を取り上げることになり、行うべきでない。

Q 外国仕組債17億円の購入の是非は

A 当時は適正と判断

Q 町民提訴の裁判は現時点で損害なし、提訴の時効等で原告敗訴。だが、金利では将来を含めて相当の損失では。

A 規則、指針に適合していても、町長の決裁に基づいて運用可能。

Q 職員が内部規定を無視して起案書を作成。これは地方公務員法違反では。

A 当時の担当職員に対して十分注意した。

Q 30年後の預金金利合計、

考えていないのか。

A 現時点ではない。

Q 指針に則って運用しているか。

A 指針に則って運用しているが、安全かつ利息もよければ、無責任きわまる。いはず。

A 予知能力がなかった。早期償還を望んでいる。

Q 想定外の災害時、復旧に多額の資金が必要では。

A 手持資金と国の補助金等で対策を講じる。

Q 災害時にあの17億円があれば、塩漬でなければと思うのでは。

A 何か良い方法はないかと考えている。

Q 正常運用と利息なしの投機的運用では差が出る。差額損失は誰が責任をとるのか。

A 今後はこれを反面教師にしたい。

Q 仕組債は高利息を期待して購入したのではないのか。

A 基金40億円の中から買った。もう少し慎重な検討、規定の整備が必要だった。

【提言】

・裁判は町民対町の争い。この失政については、何らかの形で、責任を明確化してほしい。
・仕組債購入による30年後の損害につき、責任の明確化を示すべきだ。

町財政について

Q ここ数年財政の悪化がみられる。今後の町づくり事業はできるのか。

A 行財政改革プランを作り改革を行う。

Q 経常収支比率は89.3%、急速に硬直化が進んでいるが。

【提言】

・義務的経費は歳出中42%、人件費は膨らむところ。事業取組には費用対効果を考え、又、公債発行は慎重に行うべき。
・財政硬直化対応は経費の節減、事業計画見直しが必要である。



無党派 尾形 均 議員

Q 町政・教育

原点は人間らしさでは

A 大事なものは心の豊かさ



無党派 林 繁実 議員



しき」は大切だと思う。

【提言】
3月議会で国歌斉唱に関する音楽科指導についての質問に対し「学校には指導はしたが覚えてない」との答弁に不信感をもった。教育行政のトップとしての自覚と責任を持つべきだ。

【提言】
作家の曾野綾子氏は「国歌、国旗に対し敬意を払うことは国際的礼儀の基本である」と言っている。本町でも世界で活躍できる国際人の育成に教育が果たす役割は大きい。※日本の国歌、国旗に対する法律
平成11年8月13日
法律第127号

Q トキの雛がテレビ報道され、トキの再生は環境と人の力、これを結びつけた行政の力が大きい。環境資源・人的資源が整っても町政経営のあり方で、町の明暗は大きく左右されるのでは。

A この町に集い、暮らし、活動する人々と力を合わせ、活力、優しさ、希望が持てる魅力溢れる町を創造していきたい。

Q 町の持つ産業の発展と豊かな自然環境、歴史、文化を基本に第4次基本計画を策定し、将来を目指している。

A 真に大切なものは、その中で暮らす住民の豊かさ、物質的なものだけではなく、心の豊かさ「人間らしさ」

Q 加速するデジタル社会において、町政経営にはア

「原点は人間らしさ」これが、私が長年追求しているテーマだが。

Q 教員は採用時に法令順守の宣言を行う。国歌を否定する行為は断じて許されないのではないかと。



A 議論は色々あるが、やはり国歌は胸を張って歌って欲しいと思う。

許されない国歌の否定

Q 駅前交番移転をどう考えるのか

A 最優先課題である

Q 駅前交番への経緯と現状は。

A 原則的には鑑定価格での交渉が基本。しかし、議会があらゆる手段を使って購入を望むならば可能。

A 平成21年に区長連合会とPTA連絡協議会より11000名の署名とともに要望が出された。警察と適宜協議し、候補地があれば移転を検討するとなっている。

A 昨年、候補地の取得が可能と話があった。不動産鑑定費用も予算計上した。価格交渉が行き詰っているのでは。

Q 候補地はあるのか。

A 広島在住の地主に直接交渉をした。しかし、まともになかった。

Q 3候補地を検討。どれも交渉が頓挫している。

Q 土地の取引は状況において柔軟でなければならぬ。候補地は町民の安全安心のために必要。

Q 井場川河口尻埋立地の緑地公園は検討したのか。

A 警察から検討課題として

A 出た。しかし、管理者である県からは難しい手続きが必要との回答を得ている。

A 原則的には鑑定価格での交渉が基本。しかし、議会があらゆる手段を使って購入を望むならば可能。



駅前交番

待ったなしの行財政改革

Q なぜ、今行財政改革を行わなければならないのか。

A まずは、人件費の増減が一目でわかるシステム作りを指示している。

A 最近2、3年、単年度収支が赤字で推移している。このままでは財政運営がとも難しい。

Q 行政の仕事はすべて正職員や臨時職員だけで行う必要はない。人員の効率配置、効率的な業務推進

A 効率的な仕事をするのが効率的な人員管理につながる。シビアに進めて行きたい。

Q 内部職員だけで行財政改革は進められない。事業仕分けのように、民間、外部の意見を取り入れるべき。

A 今回は検討していない。町民アンケート等で外部評価は取り入れられる。

「かんだ港まつり」の街づくりを

Q かんだ港まつりが初めて民間主導で行われている。今回の港まつりが将来も踏襲されるのか。

A 今回は初めての試みとして民間に預けたが、問題点がいろいろと出てくる。さらに良くなるように行政府も内部に入り、検討したい。



無党派 友田 敬而 議員

地域の防災総点検は



学議員 党 白石 公明

A 地区別防災 カルテを作る

浸水箇所3件、高潮地区5件の点検をした。
結果は、
危険箇所が3ヶ所あり3件とも急傾斜地だ。

財政状況について
行政改革推進本部を設置した目的は、
経常収支比率と歳入歳出のバランスの悪化の解消、機構改革、人員管理も含め、業務全ての見直しだ。
具体的な数値目標は、
それぞれの分野で数値目標を掲げていく。



地域防災計画は、いつころまでに策定予定か。
福岡県のアセスメント調査報告書が5月末に公表された。町では11月末をめどに見直しをする。
防災会議の人員、特に女性の目線が欠けていたが、それを反映させる構成になっているか。
人数を21名から25名に増員した。一般の方、有識者、そして女性2名程度検討。
荻田町に地震計はあるか。
消防本部にある。
消防バイクの導入を提案する。情報収集に大きな効果がある。導入している自治体もある。
荻田町は、車両進入困難な場所は少ない。現時点での導入は難しい。
町には空港、高速道路、山間部もある。危機管理上、車両の通行が困難な時がある。導入すべきだ。
災害発生時、消防車、救急車に対応できるか問題は大きい。今後は考えて

いく。
地域との連携は、
自主防災組織が16団体設立された。地域防災力の強化に努める。
避難所はどこか。
自主避難所が5、一般避難所が6、全部で11ヶ所ある。
高齢者や弱者への緊急時の連絡は、
要援護者の避難プランについて会議を重ねている。名簿の共有も計画中だ。
老朽化するインフラ対策は、
町管理の道路橋は111ヶ所。橋梁長寿命化修繕計画を25年度に策定する。
町内の危険箇所の点検をしたか。
急傾斜地20件、池3件、道路冠水箇所23件、床下

通学路緊急点検、その取り組みは

A 総点検を実施、積極的改善を図る

京都、千葉、大阪の通学時の事故を受け行った全国緊急点検の結果は。又その対応は。
安全マップを改善し周知徹底を行った。道路環境改善は関係機関と協議をする。
指定された通学路の数は。すべて点検は終わったのか。
通学路数は掴んでないが、すべて点検した。
通学路数、点検総数、対策済数、未対策数を掴ま

ないと安全総点検の意味がない。
6月1日に総点検した結果は報告している。今後、関係機関、警察、道路管理者と合わせて改善していく。
改善した安全マップの児童・生徒への指導は、
全校集会、学級会で指導。
学校付近を示す道路標示や標識がないのはなぜか。
地域から要望がなかった。あれば100%つける。

昨年9月の一般質問において「小波瀬駅移転よりも安全対策を優先したい」との答弁。その進捗は。
「やはり駅舎改修と周辺危険回避は共に」と考え、交渉、話し合いをしている。
地域に応じた防災計画が必要では。
地区別アセスメント調査を実施し、地理的特性に応じた防災計画を作成する。
公共施設は避難所としての機能は整備されているのか。
既に耐震調査を行い必要な耐震工事を実施している。
緊急避難所としての基準はあるのか。また、備えは、
1500食、1500リットルの備えで十年前の防災計画だ。今年十一月見直す。
庁舎の耐震診断結果は、
町長の言う「庁舎計画」とは、
「庁舎計画」に基づいて7月に出る耐震診断結果

から議会と相談しながら進める。
公共施設、学校は昭和56年の耐震基準で判断している。最近の災害を教訓とする地域も多いが。
IS値はクリア。震度6〜7までは耐えられる。
機構改革について
機構改革のめざしたものは、
行政改革推進本部を設置し、3カ年計画で推進する。
部長兼務を増やしたわけは、
今年1年を見て、兼務か廃止かを検討する。
どのような効果を狙うのか。
業務効率化を積み上げて人員削減へつなげる等ニーズに合わせた改革をしたい。
最近、再任用制度の目的がずれているのでは。
業務が適切か見直している。



議員 派 廣 常 無 会 派 廣 常 無 会 派 廣 常 無



「庁舎計画」に基づいて7月に出る耐震診断結果

業務が適切か見直している。

Q 高齢者対策のきめ細かい取り組みを望む



日本共産党 梶原 弘子 議員

Q 荻田町の65歳以上の人口は7294人、5人に1人が65歳以上高齢化率20.4%、その対策はどのようなものか。

A 医療、介護、予防、生活支援、住まいのサービスを一体的に提供する。

Q 住んでいた地域で老後を過ごしたいと要望がある。

A バンジープランの中で施設整備を計画、50床の有料老人ホームを3ヶ年計画で建設予定。

Q 高齢者は「海釣り」や「基会所」など安心して過ご



す場所を望んでいるが。荻田港は「SOLAS条約」対象の重要港湾。

テロ対策で立入ができな
い。囲碁は地域公民館の開
放を各区と相談してみる。
※ SOLAS条約…海上に
おける人命の安全のため
の国際条約

水利組合のあり方について

Q 農地転用手続で水利組合にかなりの金額を求められることがある、法的根拠は。

A 水利承諾書は法定の添付書類ではないし、義務付けられてはいないが農業委員会総会で決定した。

Q 浄化槽設置で流水は美しい。水利組合の同意はいるのか。

A 一般の建物は放流同意は必要ない、排水に危惧がある分については未だに要ることになっているが。

A 第5期パンジープラン21を策定した

Q 非常にあいまいである。水利組合は任意団体なので町として関与できないと聞くが、トラブルはないか。

A 転用許可基準上、農業排水施設に支障を与える場合、許可が出ない。トラブルを防ぐために承諾書をもたう。

Q 定住化に支障はないのか、研究してほしい。

A 今後勉強していく。

教育について

Q 季節の変わり目、暑さの中で学校の扇風機は利用しているのか。

A 学校判断に任せている。

Q 通学路の安全点検は。

A 6月1日をめどに文科省へ報告書を出し、関係機関と改善に取り組む。

土地開発公社・臨時職員の不正問題について

Q 庁舎内の会計業務は、単独でなく複数で行うように改善できないか。

A 調査し改善する。

今古賀地区への公共下水道について

Q 今古賀地区等への公共下水道つなぎ込み認可は平成29年度となっているが、工事はいつからか。

A 県道小波瀬駅停車場線を通して、JRを超える所までは今年度着工。今古賀、百合ヶ丘団地の方面は、未定。

Q 通学路の安全総点検については。

A 各学校が保護者や地域と連携し点検。危険箇所、問題点は安全マップを改善し児童生徒に周知。

Q 点検にかかった日数は。

A 約2週間。

Q 警察署との協議は。

A 月に数回実施、信号機設置は年2回の公安会議に要望を出している。

Q 集団登下校については。

Q 通学路の安全安心の確保を

A 子ども達の安全のため。集団登校は荻田小学校、集団下校は片島・白川小学校、一年生の集団下校は南原・馬場・与原小学校。

避難所のあり方と豪雨対策

Q 災害時の備蓄状況は。

A 食料約1500食、水約1500本、毛布、ビニールシート、土のう等。災害発生時には生活必需品等の供給でサンリブと協

A 関係機関と改善策について協議する

定を締結。
Q 聴覚障がい者への情報提供は。

A 消防は、ファックスからメールへと考える。災害時連絡方法に関するアンケート結果より携帯メール48%、ファックス46%、パソコンメール6%。ファックスとメールが特に有効。今後活用を行う。

Q 災害時の避難所である公民館にオストメイト対応トイレの設置は。

A 西部公民館に今年度完成。
Q 防災訓練の内容と場所は。

A 町の災害対策本部の図上訓練。町とパンジープラザ、佐川急便の合同訓練。

10%節電の取り組み

Q 本庁の創意工夫は。

A 節電目標15%減でエアコンの設定温度は28度。照明設備は必要最小限度。庁舎等の緑のカーテンにより昨年度は15%減達成。今年もさらなる節電効果を図る。

Q 庁舎内をLED照明に替える取り組みは。

A 耐震調査の結果を踏まえ検討する。



公明党 小山 信美 議員



西部公民館のオストメイト対応トイレ



Q 与原土地地区画整理事業は 何故6年も遅くなるのか

A 施工計画を作成した結果、完了が遅れた



無会派 榎谷 忠明 議員

Q 3月議会までは、多くの議員が質問しても27年には終わると言っていたが。

A 24年3月に工事施工計画が出来、同計画に基づく33年まで6年延長という結果になる。

Q 早急に地元、地権者に対し説明会を開いて頂きたい。地権者は不安に思っている。

A 区画整理審議会を開いたあと、説明会には町長が出席する。

Q 第四次荊田町総合計画では、目標人口4万人が目玉だったのでは。

A 人口増は、現状から目標値まで4000人で区画整理では、2500人ほど見込んでいます。

【提言】 物事にはタイムリングがある。出来るだけ早くやってもらいたい。

Q 九耀橋の代替としての通学路について。桜ヶ丘と九耀橋の中間に、日豊線の下に通路が有るのを知っているか。

A 自動車が進入できないので自動車事故はゼロだが、道路自体が花や草に囲まれ見通しが悪い。

Q 草を刈り、通りに防犯灯をつけ、引き込み線を渡る様にすれば、小・中・高生や通勤者も助かるが。

A 通学路とは各学校が児童、生徒の通学の安全の確保と教育的環境維持のために指定している。学校が対象地区の保護者と意見交換した結果、現行通りと結論が出た。

Q 与原小学校の避難通路について、1月17日の避難訓練を見に行ったが南側通用門が狭い。

A 南門が狭く幅幅をしてほしいとの要望が学校からも出ており、幅幅は検討中。

Q 防災時の避難訓練は毎年行ってほしい。災害に想定外はない。

A 常に防災について子供達の意識、職員の意味を高める意味で継続的に取組んで行く。

Q 自主防災組織はどうなっているのか。

A 今迄は集と猪熊地区しかなかったが、その後12地区、そして2月に



与原土地地区画整理事業

2地区が出来た。

Q 48行政区全部に自主防災組織が出来るのはいつ頃になりそうか。

A くらい安全課としては来年くらいに全区に作りたい。

Q 地域自治会の課題をどう解決するか

A 住民の理解・助け合い、町との協働が必要

自治会の現状と課題

Q 地方自治体の基本的な構成組織であり、地域民主制の原点ともいえる自治会の現状は。

A 町内における自治会の加入率は71・4%であり、3年前に比べ1.6%減少している。

Q その原因は何か。

A 地域の活動に無関心な世代が増えている。

Q 地域自治会が果たしている役割について広く理解を求めるべき。広報誌の

配布、防災防犯活動の推進、衛生活動、福祉文化活動等大変重要な役割を担っている。

A 町民サービスの提供機関としての地域自治会の役割を広く伝えたい。

Q 町が小さな自治体であれば、さらに小さな自治体である自治区はその区民が本当に安心安全に幸せに暮らせるようにしてほしい。

A 助成金なり交付金制度を検討してみたい。

【提言】

モデル自治会の運営は地域を立て直しコミュニティを守り、地域をこうするという明確なビジョンを持っている荊田町の町内会づくりの参考の一助にもらいたい。

モデル自治会の一例

①住民の迷惑、困った事に対して率先して取り組む。違法な路上駐車、犬猫のマナー違反等々。

②コミュニティビジネス、つまり自治会の財源獲得活動。

③運動会などのイベント行事に対して実行委員会プラス地域の協力員を募り盛り上げを期す。

④向こう3軒両隣り精神で孤独死ゼロの達成等である。

エネルギーの地産・地消について

Q 5月29日に環境白書が発表された自然再生可能エネルギーの導入環境保全と経済成長を両立させる等であるが荊田町の対策は。

A 住宅用太陽光発電システム設置費補助事業の推進は、昨年度143件の申請があった。又、白川小学校や町民プール建設では太陽光発電を導入している。



21世紀クラブ 坂本 東二郎 議員



区長連合会との懇談会

※三原議員は掲載を辞退いたしました。

あなたの写真で表紙を飾ってみませんか！
「議会だより」の表紙写真募集

皆様に親しまれる「議会だより」の取り組みとして荇田町議会だよりの表紙写真を募集します。

町内を撮った写真で、季節が感じられる作品(風景や行事、人々など)を募集します。

募集要項等詳しくは「議会だよりNo.111号」、もしくはホームページをご覧ください。

【表紙の写真】

撮影者：松田博文さん(南原区在住)
タイトル：空港連絡橋と朝日

門かせてあなたの声

議会及びこの広報に対するご意見・ご要望がありましたら、下記の方法でお寄せください。
お寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の参考にさせていただきます。

郵送

〒800-0392
荇田町富久町1丁目19-1
荇田町議会事務局

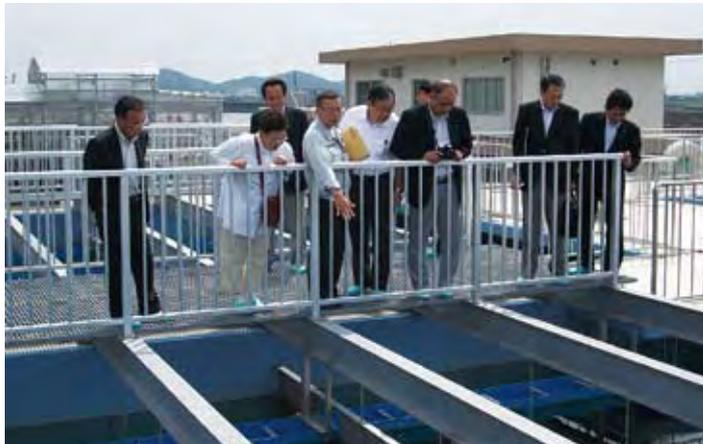
ファックス

093-434-2099

メールアドレス

gikai@town.kanda.lg.jp

追跡レポート
二崎浄水場改修工事



二崎浄水場改修工事が完了した。この工事は荇田町が工事主体となり、総工費25億円余を投じて完成に至った。

従来の浄水設備は、昭和47年に築造され、経年40年となって劣化が著しくなってきたため、平成22年から改修工事を開始、今年3月から新設浄水設備を稼働して、荇田町内へ給水を行ってきたが、既設浄水場撤去や側溝、舗装等の残工事も、7月15日に終了した。

二崎浄水場は、原水を油木ダム系今川と山口ダムから取水している。(南原浄水場は井ノ口池を原水として取水している。)

安心の水を供給するために、水質検査は原水検査(39項目以上)、浄水場での毎日検査(6項目)、上水末端検査(50項目以上)を定められた周期で実施している。

一日の処理量は13000m³余りの能力を有し、町内へ毎日約10000m³を配水している。二崎浄水場は荇田町上水道の約8割を、残り2割は南原浄水場から町内に供給している。



あとがき

この広報が皆様に届く頃には梅雨も終わり暑い日が続いている事でしょう。節電が強く言われています。計画停電などないと思います。自分も節電を心掛け、エアコン温度に注意したいと思います。

東日本大震災から一年半が経過すると云うのに、復興は遅々として進んでいません。国政はしっかりとしてほしいものです。議会広報特別委員会では、読み易い議会だよりになるよう編集委員全員で知恵を出し合っています。町民の皆様の忌憚のない御意見を聞かせて下さい。

梶谷 忠明

議会広報特別委員会

委員長	常直	行
副委員長	友廣	而
委員	梶原	敬
伊谷	谷	弘
伊塚	忠	明
白石	孝	一
遠田	孝	一